

通し番号	4383
------	------

分類番号	20-99-34-02
------	-------------

(成果情報名)

小型底びき網（タチウオ網）漁具改良試験

(要約)

タチウオ網のグランドロープと底網の間に隙間（ゴミ抜け部）を設けることで、小型魚や非漁獲対象魚の混獲ならびに、ゴミ等の入網を防ぐことができる。

(実施機関・部名) 神奈川県水産技術センター・相模湾試験場 連絡先 0465-23-8531

[背景・ねらい]

東京湾の小型底びき網漁業の主要対象魚種であるシャコは資源の減少により漁獲が制限されており、現在、タチウオなどの魚類を対象とした操業を行っている。その結果、漁獲対象となった魚類への漁獲圧力が高まり、資源への影響が懸念されている。

そこで、小型底びき網（タチウオ網）において、小型魚や非漁獲対象魚の混獲防止による資源保護を図るとともに、ゴミ等の入網による漁獲物の損傷を防ぐため、漁具改良試験を行った。

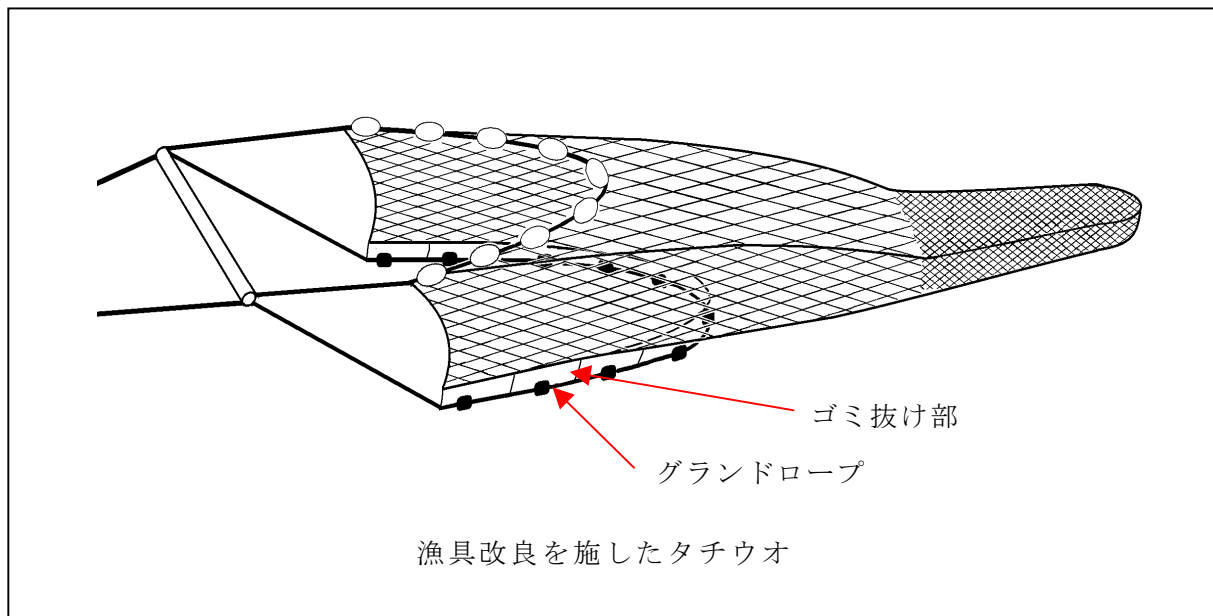
[成果の内容・特徴]

- 1 タチウオ網のグランドロープと底網の間に隙間（ゴミ抜け部）を設けることで、小型のシャコやサルエビ等のほか、クモヒトデ、スナヒトデ等のほか、粘土や石等の入網を防ぐことができ、資源保護ならびに漁獲物の損傷の防止に効果があることが確認できた。
- 2 また、同時に漁獲対象魚種であるタチウオ、スミイカ、エボダイ等が漁獲されたことから、漁具改良を施したタチウオ網が本来の漁獲能力を損なっていないことが確認できた。

[成果の活用面・留意点]

- 1 漁具改良を施したタチウオ網が、本来の漁獲能力を損なわずに、資源保護ならびに漁獲物の損傷の防止に効果があることから、実際の漁業操業に積極的に導入されることが期待できる。
- 2 当該試験の成果は、平成21年度に69隻の小型底びき網漁船に導入される予定である。〔漁具改良等支援事業（国庫補助事業）〕

[具体的データ]



網の部位	区分	魚種・名称等	単位	合計
本体袋網	漁獲対象	タチウオ	尾	16
		スズキ（セイゴ）	尾	10
		エボダイ	尾	93
		イシモチ	尾	23
		スミイカ	尾	22
		その他の有用魚種の合計	g	7,695
	非漁獲対象	スナヒトデほか不要魚種の合計	g	5,414
ゴミ抜け部※	保護対象	シャコ（小）	尾	10
		アカシタビラメ（小）	尾	2
		その他の有用魚種の合計	g	1,724
	非漁獲対象	ヒトデ類・貝殻・石・粘土・その他	g	11,395

※ゴミ抜け部については、ゴミ抜け部の投影面積の 1/2～1/3 の部分における通過物の量を示

漁具改良を施したタチウオ網による漁獲物（曳網 15 回）

[資料名] 重要水産資源回復推進事業 漁具改良試験 (H19 年度神奈川県水産技術センター業務概要)

[研究課題名] 重要水産資源回復推進事業 漁具改良試験

[研究期間] 平成19～20年度

[研究担当者名] 山本 章太郎・石黒 雄一